
令和７年度 地域研修（熊本県）の様子

令和８年度 「防災スペシャリスト養成」

地域研修（岩手県）

「防災スペシャリスト養成研修・地域研修」： https://bousai-sp.go.jp/
内閣府が実施する都道府県・市町村職員等向けの防災人材育成プログラム

救援物資の調達・輸配送を学び、次の災害へ備える

本研修は、県防災担当職員・市町村防災担当職員を対象として実施する研修です。
本研修を通じて、国からの救援物資の調達・輸配送の概要や、救援物資の調達・輸配送の要請から供給までの流れや留意点等を学びます。

オンデマンド 講義

業務に必要な基礎知識を学ぶ

令和8年 8月7日（金）
～令和8年 9月9日（水）

※ 受講には、インターネットに接続されたPCやタブレットが必要です。
受講者ご自身でご準備ください。

対面 演習

班単位でワークシートを通じて業務を体験する

令和8年 9月10日（木）10:00～16:00

※時間は多少前後する可能性があります。

岩手県庁 4階 4－1、4－2特別会議室
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

申込期限 令和8年 7月13日（月）
※ 申込方法は別添の募集要項をご覧ください。

開催概要 約１ヶ月のオンデマンド講義期間中に講義動画を視聴し、約１日の対面演習を受講いただきます。
研修カリキュラムは次ページ参照。

受講者の声（R７年度アンケートから）

- 非常にボリュームのある内容でしたが、コンパクトかつ実践的に学べる講座を提供いただき、ありがとうございま した。通常業務の合間に、今後も自己研鑽を継続していきたい。
- 目の前の業務にばかり目が行きがちですが、災害経験がない我々職員に最も求められているものは、非常時における指揮監督力と対応力だと思います。今回のような過去に実際に起こった災害事例を通じて、知識・理解を深 めていくことは非常に有意義であり、重要であると感じました。
- 現場の実情を知ることができ、よい経験になりました。
- 全般を通して、大変為になったと思います。自市においても、手付かずだった問題点が見えてきたので、行動に移したいと思っています。
- 災害対応について、自分がいかに知識（経験）不足であるか見直す機会になりました。
- 内容が濃く、防災担当1年目からしたら広い知識を得られる場になったと思います。
- 一昨年に豪雨災害を経験し、災害の怖さは知っていたつもりですが、事前に受援計画 を作る必要性をしっかり学べた。

地域研修とは
内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。
その一環である地域研修は、災害対応能力の一層の向上、地域内の人的ネットワークの形成の促進等を目的に、都道府県と内閣府（防災）の共催で開催します。

地域研修カリキュラム

注）　対面：当日の状況で変更の可能性あり
オンデマンド：今後の収録状況によって変更の可能性あり

対面演習・当日参加

形式	地域研修における位置づけ	学習目標	
あいさつ	はじめに	・本日の研修の意義を理解する。	開始10時・終了16時
		・本日の研修の実施体制を説明する。	
		・本日の研修の流れを理解する。	
プレゼン	前提・背景を知る	・救援物資の調達・輸配送の全体像を理解する。	
	過去に学ぶ	・実際の事例にもとづき、具体的なイメージを持てるようになる。	
班ワーク	事前説明	・演習の流れ、実施方法を理解する。	
	演習	・自分事として物資業務を考えられる。 ・物資業務の流れ、改善課題がわかる。	
	補足	・新物資システム（B-PLo）に対する理解を深める。	
発表	演習をふりかえる	・各班から演習をふりかえる。	
コメント	全体をふりかえる	・専門家から今日をふりかえる。	
あいさつ	おわりに	・本日参加の意義を伝える。	

オンデマンド講義・事前学習

必須/選択	地域研修における位置づけ	学習目標	
任意	災害対応業務全般を学ぶ	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる。	必須100分・任意385分程度
		・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる。	
		・災害救助法の概要を説明できる。	
		・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる。	
		・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。	
任意	応援・受援の基礎知識を学ぶ	・受援体制整備の必要性について説明できる。 ・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる。 ・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる。	
		・応急活動と資源管理について説明できる。 ・初動対応と資源（大規模災害への対応）、応急期の物的な資源管理（救援物資業務）、応急期の人的な資源管理（応援受援活動）について説明できる。	
		・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。	
必須	物資の調達・輸配送を学ぶ	・救援物資の調達・輸配送の概要を説明できる。	
		・県の救援物資に関する取組の概要を説明できる。	
		・救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点・備えを説明できる。	
		・救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。	
		・救援物資の各業務（調達、倉庫、輸配送）の流れと留意点を、具体的に説明できる。	
任意	避難所運営業務の基礎知識を学ぶ	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。	
		・地域の多様な主体が避難所運営に関わることの意義を説明できる。	
		・災害時における男女共同参画の視点から取り組むべき事項を説明できる。	

コーディネーター
【プロフィール】

国立研究開発法人
防災科学技術研究所
災害過程研究部門　客員研究員

宇田川 真之氏

東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻博士課程修了。博士（理学）。東京大学地震研究所、人と防災未来センター、東京大学大学院総合防災情報研究センターなどを経て、令和７年度から現職。
市民への災害情報の伝達や、救援物資の調達・輸配送業務の改善への取り組みとともに、自治体の地域防災計画や受援計画等の検討や被災地における自治体支援活動などを行っている。

共催　岩手県　内閣府（防災）